

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第2回 所沢市地域福祉推進委員会
開催日時	令和2年7月8日（金）10時00分 ～ 正午
開催場所	こどもと福祉の未来館 多目的室3・4号
出席者の氏名	中島 修（委員長）、赤坂 悦（副委員長）、梅本 晶絵 小松 君恵、高柳 進、田中 保子、飛田 裕子、中川 博之 根本 明子、長谷部 賢司、原 紘一、三好 尉史
欠席者の氏名	新井 むつ子、大島 隆代、佐藤 佳岳
説明者の職・氏名	地域福祉センター 主査 遠藤 康代、主任 鹿島 裕太、主任 戸塚 渉輔
議 題	(1) 第2次地域福祉計画の進捗状況（令和元年度実績）について (2) 第3次計画の策定について (3) その他
会議資料	【配布資料】 ・ 会議次第 ・ 資料1 令和2年度第2回所沢市地域福祉推進委員会会議資料 ・ 資料2 進行管理表（第2次所沢市地域福祉計画の指標としている取組） ・ 第3次地域福祉計画体系（案）への意見書用紙 ・ 所沢市地域福祉推進委員会条例 ・ 社会福祉法人所沢市社会福祉協議会令和2年度事業のしおり ・ 所沢社協だより『ちゃお』NO. 96 ・ 「新しい生活様式」チラシ ・ 「暮らしの相談」チラシ ・ 令和元年度所沢市生活支援コーディネーター活動報告集
担当部課名	福祉部 地域福祉センター 電話04（2922）2115 地域福祉センター センター長 大出 久美 地域福祉センター 主査 遠藤 康代 地域福祉センター 主任 鹿島 裕太 地域福祉センター 主任 戸塚 渉輔

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>事務局 （大出センタ 一長）</p>	<p>1. 開 会 開会を宣言した。</p>
<p>瀨能部長</p>	<p>2. 委嘱状の交付 新型コロナウイルス感染症対策のため、各委員への交付は省略した（事前配布）。</p> <p>3. あいさつ 委員改選後、初めての委員会ということで、皆様にはご多忙の中、福祉行政の推進にご尽力いただくことに厚く御礼を申し上げます。地域福祉推進委員会では所沢市地域福祉計画の策定のほか、計画進捗状況の確認・評価等を行っていただいている。当市の地域福祉計画は第1次計画として平成17年度から10年間、現行の第2次計画は平成27年度から6年間を期間として策定している。今年度が現行計画の最終年度にあたることから、皆様には来年度からスタートを予定している第3次計画の策定についてご議論いただきたい。第3次計画は、社会福祉法の改正により福祉分野の上位計画として位置づけることとなる。また、成年後見制度利用促進基本計画についても、地域福祉計画の中に位置づけることを検討している。それぞれの見地から、ご尽力いただくようお願い申し上げます。</p>
<p>各委員</p>	<p>○委員等の自己紹介 各委員より自己紹介を行った。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局より職員の紹介及び第3次地域福祉計画策定業務の委託業者の紹介を行った。</p>
<p>瀨能部長（進 行）</p>	<p>○委員長・副委員長の選出 委員の互選により委員長・副委員長を選出し、承認を得た。 委員長：中島委員 副委員長：赤坂委員</p>
<p>中島委員長</p>	<p>○委員長・副委員長あいさつ 法改正をはじめ、地域福祉をとりまく状況は大きく変化してきており、次期計画の策定に向けては十分な審議が必要だと考える。皆様には活発な議論のため協力をお願いしたい。</p>
<p>赤坂副委員長</p>	<p>力の及ばない事もあるかと思うが、よろしく願いしたい。</p>

中島委員長	<p>○会議の運営方法に関して 下記のとおりとしたいが、いかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開・非公開について、原則公開とする。 ・会議録の記録方式について、発言者名は公開とし、要約方式で記録する。 ・会議録の確定について、委員長に署名・承認を得て、確定する。
委員一同	了承（異議なし）
事務局 （大出センタ 一長）	<p>○欠席者の報告 新井委員、大島委員</p> <p>○会議の公開の確認～ 傍聴希望者 1名</p> <p>○資料の確認 配布資料を確認した。</p>
事務局 （遠藤主査）	地域福祉推進委員会の位置付け、地域福祉計画の概要等について説明した。
各委員	日頃の活動等、自己紹介を行った。
	<p>4. 議 題</p> <p>1. 「第2次所沢市地域福祉計画進捗状況（令和元年度実績）について」</p>
事務局 （遠藤主査）	<p>資料2により、地域福祉計画の指標としている市及び社会福祉協議会（以下、「社協」）計26の取組について、令和元年度（平成31年度）実績の報告を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度目標を達成した取組は8あった。 ・令和2年度目標に対し、90%以上達成している取組は12あった。 ・平成30年度比で実績が向上した取組は16あった。 ・福祉の相談窓口、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所の合計相談件数は、平成29年度45,962件、平成30年度55,460件、令和元年度64,908件と、約9,500件ずつ増加した。 ・全体として85.3%の達成率。前年度（82.9%）と比べて2.4ポイント上昇した。
中島委員長	各相談機関の相談件数が伸びていることは注目すべき点である。各委員から意見はあるか。
田中委員	地域包括支援センターの印象としては、高齢者数の増加と比例して問題を抱えている方も増えているが、相談員の人数を増やせるわけではなく、マンパワーの限界を感じて

梅本委員	<p>いる。また、高齢者の方が家の外に出て、地域との関わりを持てることは望ましいが、それができない方にとって高齢者みまもり相談員の存在は重要である。だが、引き受けてくれる方が増えず、なかなか上手くいかないというのが率直な感想である。</p> <p>福祉の相談窓口における相談は、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響によりさらに複雑・多様化している。また、社協では感染症により生活が困窮した方を対象に生活資金の貸付事業も行っており、既に2,000件以上の申込があった。職員数は限られている中で、相談・貸付後にどのようにフォローしていくかが重要で、関係機関と一層連携することが求められている。第3次計画では包括的な相談支援体制について盛り込んでいくことになると思うが、委員会の中で関係機関との連携等について議論できればと考えている。</p>
三好委員	<p>国立障害者リハビリテーションセンターでは、基礎疾患や病気を持った利用者の方もいることから、様々な配慮のもと感染症対策を行っており、現在は少しずつ範囲を広げながらサービスを行っている。我々は自立訓練や就労移行支援を行っていることから、それほど影響はないが、地域の就労継続支援施設等は大きな影響を受けているのではないかと感じる。</p>
中島委員長	<p>すべての障害者の方がマスクを装着できるわけではなく、多々ご苦労されていると思う。ところで、こどもと福祉の未来館の開館後、子連れの利用者が増えるなど、様々な世代が交流できる場になってきていると感じている。これについて事務局より補足をお願いしたい。</p>
事務局 (大出センター長)	<p>こどもと福祉の未来館は平成29年1月にオープンし、3年半が経過した。平均して一日あたり約500人、年間約180,000人にご利用いただいている。2階のこども支援センターの「ひろば」が好評。その他、体育館では高齢者の方や障害者の方もよく利用されているなど、日頃接点のない幅広い世代・立場の方々が集まるのが館の特徴になっている。また、様々な立場の方が交流できる「ランチコンサート」をはじめ、障害者の方の参画により、市民のためにできる事業なども行っている。最近では新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、施設の貸出を一時中止し、貸付事業の需要増加に対応するため社協に多目的室をご利用いただくなど、臨時的対応となっている。災害時には災害ボランティアセンターとして機能する施設でもあり、様々な用途で活用できる施設となっている。</p>
小松委員	<p>こども支援センター子育て支援エリアの利用率は想定以上に高い。所沢市は市外から引っ越してくる方も多く、まずはこども支援センターの「ひろば」に来て、児童館などの地域の情報を得るという役割があるように感じる。また、「ひろば」が隣接する発達支援エリアとどううまく共存していることが、他市にはない特徴だと感じている。いわゆる健常児と支援が必要と思われる子どもについて、保護者の気持ちを汲み取りながら双方のエリアが連携・共存している。</p>

中島委員長	<p>「ひろば」は4歳未満の子どもを対象としており、支援が必要な場合は隣の発達支援エリアで相談支援が受けられる環境となっている。そのため、何気なく遊びに来た場合でも、自然につながれることがこの施設の特徴だといえる。</p>
事務局 (戸塚主任)	<p>2. 「第3次地域福祉計画の策定について」</p> <p>資料1により、以下の説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 改正社会福祉法について 福祉分野の上位計画として位置付けることとしたい。 ▶ 策定期間について 関連計画との整合性を図るため、6年間（令和3年4月1日～令和9年3月31日）としたい。 ▶ 成年後見制度利用促進基本計画の位置付けについて 多角的かつ統括的な視点で利用促進基本計画を位置づけることができ、進行管理の効率化が期待できることから、第3次地域福祉計画の中に盛り込むこととしたい。 ▶ 策定体制（本委員会、所沢市庁内地域福祉推進連絡会議、所沢市成年後見制度推進検討委員会）について 3つの会議体により調整を図りながら策定を進めていくこととしたい。
中島委員長	<p>事務局からの説明のとおり、策定期間は6年間とし、成年後見制度促進基本計画を第3次地域福祉計画に盛り込むということによろしいか。</p>
委員一同	<p>了承（異議なし）</p>
中島委員長	<p>事務局においてはそのように進めていただきたい。引き続き、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (鹿島主任)	<p>資料1により、以下の説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 第3次地域福祉計画の体系（案）について <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行計画をベースとして、国のガイドライン、市民意識調査報告書、庁内地域福祉推進連絡会議、地域福祉推進委員会からの提言や意見等を踏まえて作成したもの。 ・ 市の最上位計画である「第6次所沢市総合計画」との整合性を図るため、現行地域福祉計画の3つの基本方針を維持している。 ▶ 今年度スケジュールについて
小松委員	<p>第6次総合計画との整合性を図るということだが、総合計画では「持続可能な開発目標」、いわゆる「SDGs」についてはどう考えられているか。民間企業ではSDGsの考え方が浸透し、障害者雇用など福祉分野への貢献意欲が高まっている。地域福祉計画の策定に向けて、委員として総合計画についても知りたいと考えている。また、昨年</p>

	<p>度実施された市民意識調査では、新型コロナウイルス感染症についてどのような意見が出ているのか。</p>
<p>中島委員長</p>	<p>市民意識調査は令和元年10月に実施されたもので、新型コロナウイルス感染症は調査項目に含まれていない。またSDGsは国際的な大きな枠組みであり、その理念を念頭に置きながら、17ある項目を所沢市の中に落とし込んでいく必要がある。総合計画については事務局から説明いただきたい。</p>
<p>事務局 (大出センター長)</p>	<p>第6次総合計画は令和元年度から10年間を期間とし、地域福祉計画に先行して策定されており、地域福祉については第1章第2節において、現行地域福祉計画と同じ3つの基本方針をもって位置づけられている。また、SDGsを念頭に置き、所沢市の事業をSDGsの理念のいずれかにつなげていくことを考えて策定されている。次期地域福祉計画についても、まず「3 全ての人に健康と福祉を」というSDGsのゴールを意識して策定するものになる。なお、総合計画については、資料として委員の皆様へ後日配布させていただきたい。</p>
<p>中島委員長</p>	<p>SDGsについては、次回簡単に説明させていただきたい。</p>
<p>中川委員</p>	<p>体系(案)は、現在のニーズに即してテーマが絞られていると思うが、例えば基本施策6「住民同士の見守り・支え合いの推進」など、目標指標を数値化することが難しい箇所があると感じた。また、基本施策8「地域で活躍する団体への支援」については、40歳～50歳代の現役世代への情報発信を強化して巻き込んでいくことや、現役を引退した方や70歳以上の方が活躍できる場・雰囲気づくりも必要である。団体への支援と同時に、担い手をどのように育成・確保していくかという点も盛り込んでいただきたい。</p>
<p>田中委員</p>	<p>基本施策1「相互理解・共生の推進」にある「農福連携」とは何か。また、基本施策8「地域で活躍する団体への支援」や重点施策B「地域生活課題の解決に向けた取り組みの強化」等において、社協やコミュニティソーシャルワーカー(CSW)等の記載があるが、地域包括支援センターは生活支援体制整備事業における第2層生活支援コーディネーター(SC)を担っている。SCとの連携等についても検討いただきたい。</p>
<p>事務局 (遠藤主査)</p>	<p>「農福連携」は、市内にある体験農場を福祉施設に貸し出し、就労支援等の一環として活用していただくという新たな取り組み。先般の社会福祉法改正に伴い、地域福祉計画に盛り込むべき事項として、「様々な課題を抱える者の就労や活躍の場の確保等を目的とした、福祉以外の様々な分野(まちおこし、商工、農林水産、土木、防犯・防災、社会教育、環境、交通、都市計画等)との連携に関する事項」が一例として示されたことを踏まえ、今回盛り込んだもの。他自治体では、介護予防としてもこのような取り組みが行われている。</p>

高柳委員	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、自治会・町内会への情報伝達が困難になってきている。感染症に係る市の方針や考え方が地域住民に伝わるよう取り組んでいただきたい。
中島委員長	今般のコロナ禍で地域での活動がストップしたり、対面の支援ができなかったりするなど、委員の皆様もご苦労されていることと思う。今回ご提案しきれなかったご意見等については、配布している用紙にて事務局にご提出いただきたい。
梅本委員	<p>3. 「その他」</p> <p>配布物の紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 所沢社協だより『ちゃお』など
中島委員長	議題はすべて終了した。進行を事務局にお返りする。
事務局 (大出センタ 一長)	次回会議の日程は、令和2年11月6日(金)午後2時を予定している。
事務局 (大出センタ 一長)	<p>5・閉 会</p> <p>閉会を宣言した。</p>